

# ISDA® JAPAN MONTHLY UPDATE

2007年2月

## コミッティ活動

### **Credit Derivatives:** 担当難波(knamba@isda.org)

本邦クレジットデリバティブ市場に関する調査（2007 Japanese Credit Derivatives Market Survey）の結果が、2月22日に参加メンバー各社に送付された。本年の調査参加メンバー数は19社であった。

### **Operations:** 担当難波(knamba@isda.org)

2006 ISDA Definitionsの利用に関するアンケート結果が報告された。1月末時点において、本邦メンバーの多くが2000年版からの切り替え時期についての検討を継続中であり、新定義集を導入済みあるいは導入予定日が確定しているとの回答はごく少数に止まった。また、欧米のディーラーメンバー中心のInterest Rate Products Working Groupにおいても、一斉導入日を合意するには至っていないとの報告があるため、メンバー各社の検討状況を引き続きフォローしていくこととなった。

さらに、メンバー各社内における新定義集の内容確認作業を円滑に進める手助けとするため、2000年版定義集からの変更点をまとめた資料の日本語版が作成配布された。

### **Regulatory:** 担当森田(tmorita@isda.org)

全国銀行協会（会長行室）と金融商品取引法に関する意見交換会を行った。メンバーの関心事項の一つは排出量取引を行うことが可能となるかだが、本件の扱いは金融庁から今春公表される予定の政省令案によって明らかとなる。

### **Risk Management:** 担当森田(tmorita@isda.org)

2月2日のリスクマネジメントコミッティ会合において、ISDA 欧州事務所のエマニュエル・セプトン（Head of Risk Management）が新 BIS 規制下におけるカウンターパーティー・クレジットリスクに関するプレゼンテーションを行った。

金融庁を訪問し、新 BIS 規制導入に関する諸問題、並びにデリバティブ市場における ISDA のグローバルな取組みにつき話し合った。さらに、トレーディング業務から発生する追加的なデフォルトリスク・モデル（incremental default risk modeling）に関する最近の取組み等、トレーディング勘定における諸問題について話し合うため、日本銀行と会合を行った。

## コミッティ並びに作業部会会合の予定

### **JMPF/MNPI Working Group:**

(日本語による会合)

3月6日

### **Documentation Committee**

(日本語による会合)

3月7日

### **Steering Committee**

(日本語による会合)

3月9日

### **Collateral Committee:**

(日本語による会合)

3月26日